

一般

段級

空曇りて、物影うつら<sup>く</sup>ず。須賀川<sup>の</sup>の<sup>馬</sup>に

等窮といふものを尋ねて、四、五日と<sup>あ</sup>らる。

先、「白河の関いかにこえつるに<sup>た</sup>と問ふ。

1 2 3 4 5

〔奥の細道〕

空が曇っていて物影は映らなかつた。須賀川の駅で等窮というものを訪ねて、四五日やっかいになった。等窮はまず「白河の関をどう越しましたか(どんな句を作りましたか)」と尋ねてくる。

